

## 2022年 夏例会開催の経緯と実施内容

### 〈復活の経緯〉

倉敷は2000年まで新春例会と夏例会の二本体制でしたが、その後は新春から年末に時期を変更した年末例会の一つになっていました。会の活性化のため夏例会の復活を目指して2020年から実施する予定でしたが、残念ながらコロナ禍のため中止になってしまいました。しかし今年は感染防止に細心の注意を払って、やっと開催に漕ぎ着けることができました。参加者は15名でした。

### 〈夏例会の方針〉

年末例会とは一味違うものにするため、プログラムを工夫しました。年末例会が会員の調査や研究の発表に重点を置いているのに対して、夏例会では講演会やグループ別の情報交換の時間を設けました。会員の発表も「話題提供」と名付け、年度末のスライド発表よりも少し気楽な発表会になるようにしました。今後はこの会の定着と改善のためにさらに努力していきます。

### 〈今回のプログラム〉

- 講演会「環境アセスメントについて」(40分)  
講師 野嶋 宏一氏  
(株式会社ウエスコ環境計画事業部)
- 倉敷設立70周年記念事業
  - ー 真備町船穂町の昆虫調査について(30分)
    - ・ 昆虫調査実施の中間報告(事務局)
    - ・ 真備町船穂町の鱗翅類に関する情報提供(中村 具見)
- 各グループに分かれての情報交換(40分)
- 話題提供(85分)
  - (1) 2022年前半のトンボ情報(守安 敦)
  - (2) キマダラルリツバメの終齢幼虫の生態について(末宗 安之)
  - (3) 最近のひそひそ虫裏話(小橋 理絵子)
  - (4) ウスイロヒョウモンモドキ 発見史と現況(三宅 誠治)
  - (5) フチグロトゲエダシャク この2年間の記録(岡野 貴司)



## 倉敷昆虫同好会一泊調査会(2022)報告

日程：令和4年8月27日 会場：真備美しい森(倉敷市真備町)

倉敷の一泊調査会は、この2年間、新型コロナへの対応のため中止になっていました。

しかし春の幹事会で年間行事の計画を行った段階では、今後、新型コロナ感染は下火になっていくとの予想を基に再開することになりました。また内容としては、今年の会の行事として実施する真備町・船穂町の昆虫相調査を補強するため、真備町にある「真備美しい森」に宿泊して日中の調査に続いて夜間採集を行うというものです。しかし、実施予定日が迫ってもコロナ感染の猛威は治まらず、また宿泊を予定していた施設がコロナ対策で宿泊できなくなりました。そこでやむなく、一泊は取り止めにしてミーティングと夜半までの調査に短縮して実施することに変更しました。

午後1時にマービーふれあいセンターに集合し、北側の総社市との境界となる山塊の麓に点在するトンボの生息しそうな溜め池を4人で見て回りました。魅力的な環境もあり、これからの調査に期待が高まります。夕暮れが迫ると、夜間調査のために真備美しい森に移動し、ライトトラップ（蛾屋はこれを屋台と呼びます）を設営し、後半から参加の2人を待ちながらの歓談で時間潰し。午後7時前には全員集合し、ライトに点灯、持参した食事を摂りながらのミーティング。たわいのない虫の話から、各自が口外していなかった秘話まで、涼しくなった夜風の中でゆったりとした時を楽しく過ごしました。その後は屋台の前に移動し、飛来する蛾をはじめとした様々な虫を捕獲したり撮影したりしながら過ごしました。来年は、もっと多くの参加者を集めて魅力的な虫が沢山見られる場所で実施したいと思います。なお当日の成果は、真備町・船穂町の調査報告に含めて発表する予定です。

参加者：岡野貴司、岡本 忠、水井颯麻、三宅雅美、守安 敦、三宅誠治（記）

## - 真備町・船穂町昆虫調査の実施報告と記録の集約 -

### （実施報告）

当同好会が計画しました調査会は、10月1日（土）の第8回をもって無事終了しました。ご協力ありがとうございました。前回のKURAKON N 98号に第4回調査会（7月2日）まで掲載しましたので、ここではそれ以降の調査会の概要を報告します。

#### 第5回 7月30日（土）

午後：真備町妹夜出、同町岡田大池周辺

参加者3名（三宅誠、水井、岡野）

灯火採集：真備町市場末政（真備美しい森）

参加者7名（三宅誠、市村父子、寺田、水井、松山、岡野）

#### 第6回 8月27日（土） 一泊調査会を兼ねる

午後：真備町岡田榎ノ奥池、同町市場新池ほか池巡り

参加者（守安、三宅誠、水井、岡野）

灯火採集：真備町市場末政（真備美しい森周辺）

参加者6名（岡本、守安、三宅誠、水井、三宅雅、岡野）

#### 第7回 9月3日（土）

全日：真備町箭田大平山、同町妹の小田川右岸、同町妹槇が峠～高山方面

参加者 5 名（岡本、三宅誠、寺田、水井、岡野）

第 8 回 10 月 1 日（土）

午後：真備町妹の小田川右岸、同町下二万・上二万の池巡り

参加者 3 名（岡本、守安、岡野）

灯火採集：真備町市場末政勘定池

参加者 5 名（岡本、市村父子、寺田、岡野）

### 〈記録の集約〉

現在この調査結果のデータをまとめており、次号「すずむし 158 号」に掲載する予定です。同定が進んでない目もあり苦戦していますが、どうか原稿締め切りに間に合わせようと努力しています。

### 〈お願い〉

2022 年の昆虫のデータ（採集、写真、目撃など）をお持ちでしたら、ぜひご提供ください。11 月中でしたら原稿に追加できると思います。普通種と思われるものもかなり欠落していますので、確認のためにでもご連絡ください。

また同定にご協力していただける方は事務局までご一報ください。連絡方法はこの連絡紙の最後に掲載しています。

## 2022年倉敷昆虫同好会年末例会(案内)

### 〈日時〉

12 月 18 日（日）13:00～17:00

開場は 12:30 です。開会まで自由懇談にご活用ください。

### 〈会場〉

「はぁもにい倉敷」

しげい病院の「かわせみホール」はコロナ禍で使用できないため、今回もこの開場での開催となりました。

場所については次ページの地図をご参照ください。無料の駐車場があります。公共交通ご利用の場合は、JR 倉敷駅から茶屋町方面行きのバスで「羽島停留所」下車です。

### 〈参加者数〉

現時点で人数制限の上限は 40 名ですが、コロナ禍の状況によってはさらに制限が行われるかも知れません。その場合は参加申し込み順で打ち切らせていただくことをご了承ください。

## 〈プログラム〉

### 1 倉昆設立 70 周年記念講話

「倉敷昆虫同好会と私」 脇本 浩 氏 (30 分)

### 2 真備町・船穂町の昆虫調査と報告書 (すずむし 158 号) の作成 (事務局)

### 3 スライド発表 (質疑応答を含めて 1 人 20 分以内)

- ・最後に参加者の「一人一言」の時間を設定します。
- ・集合写真はコロナ禍の状況を見て判断します。懇親会は今回も行いません。

### 4 申し込み方法

12月11日(日)正午までに同好会事務局へメールか電話で申し込んでください。スライド発表を希望する場合は、あわせてご連絡ください。その場合、「発表者名」「演題」「連絡先電話番号」、および「発表の要約 200 字程度 (KURAKON 掲載用)」をメールか FAX でご連絡ください。要約は発表後でも構いません。

同好会事務局：e-mail [kurakon@shigei.or.jp](mailto:kurakon@shigei.or.jp) TEL 086-422-8207

### 5 注意事項

参加者はマスク着用をお願いします。また、事前の自宅での検温により個人の平熱 + 1 度以上の熱がある場合は参加をご遠慮ください。

## KURAKON記事募集

連絡紙としての性格上、事務連絡事項を優先しますが、できるだけ自由な記事も掲載することにしております。次のような内容の記事を募っていますので、奮って原稿をお寄せ下さい。

「採集記」「昔の産地その後」「会員の Web ページやブログの紹介」・・・自薦他薦は問わず。

(※) 昆虫のデータを伴う記述も認めますが、正式な記録としては取り扱わないことにしますので、記録の必要性があるものについては『すずむし』誌上に改めて発表していただくようお願いいたします。◎ 原稿はメールにて守安までお寄せ下さい。



## <シンポジウムのご紹介>

日本トンボ学会（愛知大会）では、一般参加可能な公開シンポジウム「愛知のトンボを深掘り！」を開催いたします。日本トンボ学会員は事前申し込みは必要ありません。【主催】 日本トンボ学会 【共催】 人間環境大学

① 14:45～14:50：挨拶・全体説明

② 14:50～15:00：トンボ映像1：映像で見るトンボの生態行動（八木孝彦氏）

③ 15:00～15:30：名古屋の都心にトンボはいるのか？市街地の水辺環境とトンボ

④ 15:30～15:40：トンボ映像2：写真で見るトンボの興味ある行動（清水典之氏）

⑤ 15:40～16:10：濃尾平野とその周辺におけるメガネサナエ属について

⑥ 16:10～16:20：トンボ映像3：東海ゆかりのトンボたち（大野 徹氏）

⑦ 16:20～17:20：ハッチョウトンボの命名の地より“愛”知を込めて

【講演①】「尾張名古屋の博物学史～ハッチョウトンボを主として～」高崎保郎氏（日本トンボ学会）

【講演②】「ハッチョウトンボのふるさと探訪」小野知洋氏（金城学院大学）

（紹介者：守安敦）

2022年度 日本トンボ学会大会(愛知大会)  
公開シンポジウム  
2022年11月27日(日) 14:45～17:20  
会場：人間環境大学 岡崎キャンパス 2号館221教室

参加無料  
オンライン参加可

愛知県では伊勢・三河湾に流入する河川や丘陵地、湿地が織りなす環境の中で、特有のトンボたちが暮らしています。そんな愛知のトンボを深掘りして、愛知の、トンボの、新たな魅力を発見しちゃおう！

名古屋の都心にトンボはいるのか？  
市街地の水辺環境とトンボ

ハッチョウトンボ命名の地より  
“愛”知を込めて

講演  
「尾張名古屋の博物学史  
～ハッチョウトンボを主として～」  
高崎保郎氏(日本トンボ学会)

「ハッチョウトンボのふるさと探訪」  
小野知洋氏(金城学院大学)

スケジュール、アクセス  
詳細はこちら

★参加形態：会場 または オンライン  
(オンラインは Zoomミーティングを使用)

★申し込み方法  
①申込みフォームから  
②メールによる申し込み：  
氏名・メールアドレス・お住いの市区町村、参加方法(会場/オンライン)を  
[odn.matuza@silverplala.or.jp](mailto:odn.matuza@silverplala.or.jp) に送信ください  
締め切り：11月25日(金) 17:00

申込フォーム 公開シンポジウムwebサイト

主催：日本トンボ学会 共催：人間環境大学

## 倉敷市立自然史博物館の催しもの案内

### ☆今後の展示予定

12月9日～2月8日 第30回しぜんしくらしき賞作品展

2月11日～4月9日 折り紙昆虫展

## ☆収蔵資料100万点突破

倉敷市立自然史博物館では、収蔵資料 100 万点突破を記念して、公式 Twitter、Instagram、ホームページにて順次お宝資料を紹介しています。昆虫分野もけっこうなお宝が登場しますのでご覧ください。

<お問い合わせ先>

倉敷市中央2-6-1 倉敷市立自然史博物館 TEL : (086) 425-6037

(奥島雄一 倉敷市立自然史博物館)

## 【会員動静】

## 【交換文献】

(2022.7.9～2022.11.5受付分)

TINEA 26(3)	日本蛾類学会
蛾類通信 (302),(303)	〃
Nature Study (7)～(10)	大阪市立自然史博物館友の会
インセクト731(1)	とちぎ昆虫愛好会
比婆科学 (275)	比婆科学教育振興会
KORASANA (99)	久留米昆蟲研究會
久留米虫だより(254)～(257)	〃
佐賀の虫 (57)	佐賀昆虫同好会
佐賀むし通信 (297)	〃
中国昆虫 (35)	中国地方昆虫学会
庄原市立比和自然科学博物館資料報告(22)	庄原市立比和自然科学博物館
誘蛾燈 (249) Supplement(16)	誘蛾会

## 【倉敷昆虫館所蔵文献の紹介】

(その2)博物館・研究機関等の報告など

書名	発行者	巻(号) 発行年
倉敷市立自然史博物館 研究報告	倉敷市立自然史博物館	(1) - (37) 1986 2022
岡山県自然保護センター 研究報告	岡山県自然保護センター	(1) - (29) 別巻 1994 2022 (1)-(2)

自然保護センターだより	岡山県自然保護センター	9(4)-31(4) 2000 2022	欠号(1)-9 (3)の内多数
岡山県野生生物目録	岡山県環境文化部自然環境課	2003年版	2019年版
岡山県版レッドデータブック (動物編)	岡山県環境文化部自然環境課	2009年版	2020年版
比和自然科学博物館 研究報告	庄原市立比和自然科学博物館	(1)-(11), (20)-(28) 1958	(38)-(63) 2022
広島市昆虫館報告	広島森林公園昆虫館	(2) - (3) 1998 2000	
広島県昆虫誌	比婆科学教育振興会	I, II	1997
比和自然科学博物館標本 資料報告	庄原市立比和自然科学博物館	(1)-(20)	※内昆虫関係多数
比婆科学	比婆科学教育振興会	(91), (95), (99)-(275) 1972	2022
ホシザキグリーン財団 研究報告	ホシザキグリーン財団	(1) - (25) 1997 2022	
ホシザキグリーン財団 研究報告特別号	ホシザキグリーン財団	(1) -(21) 2011 2022	
ホシザキグリーン財団 環境修復プロジェクト報告	ホシザキグリーン財団	(2015年度) -(2021年度)	
日本鱗翅学会中国支部会報	日本鱗翅学会中国支部	(12) (18)-(22) 2011 2021	
日本応用動物昆虫学会 中国支部会報	日本応用動物昆虫学会 中国支部	(16)- (57) 1974 2015	
中国昆虫	日本昆虫学会中国支部	(3) -(35) 1989 2022	
自然保護センター研究報告	岡山県自然保護センター	(1) - (29) 1994 2022	
徳島県立博物館研究報告	徳島県立博物館	(26)- (32) 2016 2022	
愛媛の自然	愛媛自然科学教室	(81)-(528) 1966 2003	欠号 (107) (108) (201) (211)
愛媛県総合科学博物館 研究報告	愛媛県総合科学博物館	(6) - (27) 2001 2022	
伊丹市昆虫館研究報告	伊丹市昆虫館	(1) -(9) 2013 2022	
姫路科学館収蔵資料目録 小林平一コレクション(昆虫編)	姫路科学館	(9) - (11) 2020 2022	
四国昆虫学会報	四国昆虫学会	1(1)- 8(2) 1950 1987	

大阪市立自然史博物館 研究報告	大阪市立自然史博物館	(52) - (75) 1998 2021
自然史研究	大阪市立自然史博物館	2(14)-4(5) 1998 2022
大阪市立自然史博物館収蔵資料 目録(昆虫関係のみ)	大阪市立自然史博物館	(7)-(9), (27), (28) (34)-(36), (43)-(47)
福井県立自然保護センター研究 報告	福井県立自然保護センター	(2) - (25) 1993 2022
昆虫学評論	日本甲虫学会	11(1)-49(4) 1960 1994
神奈川県自然史資料	神奈川県立生命の星・地球 博物館	(8) - (40) 1987 2017
横須賀市博物館研究報告 (自然科学)	横須賀市自然・人文博物館	(24) - (68) 1978 2021
蝶と蛾	日本鱗翅学会	11(1)-47(4) 1960 1996
埼玉県立自然史博物館 研究報告	埼玉県立自然史博物館	(1) - (16) 2007 2022
新潟県の昆虫	長岡市科学博物館	第一輯-第九輯 1956 1965
関西自然科学	関西自然科学研究会	(15)(18)(19)(21)-(34) 1962 1983
チョウの舞う自然	日本蝶類保全協会	(1) - (32) 2004 2021
TOMBO ACTA ODONATOLOGIA	日本蜻蛉学会	11巻、16巻、19巻、 19-22巻、37巻
TINEA (英文)	日本蛾類学会	1(1-8)-26(3) 1976 2022
蛾類通信	日本蛾類学会	(1)-(300) 欠号(3) - 1959 2022 (6), (14)-(1 7), (29), (3 6), (48)
博物館報(～2017) 博物館研究報告生物資源科学	日本大学生物資源科学部 博物館	(5) - (31) 1994 2022

<倉敷昆虫同好会 連絡先> 年会費 2,000円 郵便振替口座 01210-2-6927  
 〒710-0051 倉敷市幸町2-30 倉敷昆虫館内 倉敷昆虫同好会事務局  
 TEL. 086-422-8207(直通) FAX. 086-421-1991 E-メール kurakon@shigei.or.jp  
 開館：午前9時30分から午後5時まで(13:00から14:00は閉館)  
 休館日：月曜日(祝日・休日の場合は開館し、翌日が休館)、12月29日から1月3日  
 倉敷昆虫同好会ホームページ：<https://www.shigei.or.jp/kurakon/>